

えーる!

2025.09
Vol.116

太鼓と口説き、広がる笑顔
地域でつくる鹿野地区盆踊り

さて盆踊りの口説きが始まります。にぎやかな音色に誘われるよう、ひとり、またひとりと、やぐらを中心踊りに加わる人たちが現れ、自然と踊りの輪がで起きあがります。

空がすっかり暗くなつた頃、会場につるされた提灯の明かりが輝き、踊りが一度休憩になつたと思うと、今度は耳なじみのある鹿野

並び、地域の皆さんのが飲食ブースを開いていました。せつかくの機会でしたから現地で夕食をとることにしました。

田 始め、秋の訪れを感じるようになつてきましたね。今月号の「えーる！」では、8月15日に開催された「鹿野地区盆踊り」についてご紹介します。

音頭のメロディが流れはじ
め、再び踊りの輪ができあ
がります。

自分も小学生の頃に運動
会で踊った思い出があり、
周囲の人々に背中を押されて
踊りの輪に加わりました。

天下で、地域の皆さんのが力
を尽くしてくださったもの
だとうかがいました。

決して目立たないながら
ごされていました。



今 地区 盆踊り

●会場では、飲食ブースと座るためのテーブルが準備されていました。



●盆踊り前に、響き始める和太鼓



○盆踊り後のお楽しみ抽選会



盆踊りの源流は、平安時代の念仏踊りにあると言われています。念仏踊りは、時代の流れとともに各地で独特なものが作られはじめ、多くの人が踊り継がれてきたと言われています。

鹿野では、盆踊りは元々新仏のあつた家の前で踊られていましたが、しだいに地域の

広場で行われるようになり、地域のレクリエーション的な意味合いを帯びてきた、と伝えられています。

自分が子どもの頃には、仮装盆踊りとして実施されていましたように記憶しています。盆踊りが、時代に沿った形になりましたながら、これからも続けてほしいと思います。